



# パワーアップ問題 解答

(名前)

○ 大造じいさんは、何に強く心を打たれたのでしょうか。別紙「大造じいさんとがん」の一部」を読み、あとの条件に合わせて文を書きましよう。

〈条件〉

- 「大造じいさんとがん」の一部」から言葉や文を取り上げ、はやぶさと残雪のちがいについて書いていること。
- 主語と述語を正しく使うこと。
- 三十字以上、五十字以内で書くこと。

※◆の印から書きましよう。とちゅうで行を変えないで、つづけて書きましよう。

	は	は◆
	、	や
	頭	ぶ
	領	さ
	ら	は
	し	、
	い	人
	堂	間
	々	を
	た	見
50字	30字	て
	る	飛
	態	び
	度	去
	だ	っ
	っ	た
	た	が
	か	、
	ら	残
	。	雪

## 別紙【「大造じいさんとがん」の一部】

残雪の目には、人もはやぶさもありませんでした。ただ救わねばならぬ、仲間のすがたがあるだけでした。いきなり、敵にぶつかっていきました。そして、あの大きな羽で、力いっぱい相手をなぐりつけました。

不意を打たれて、さすがのはやぶさも、空中でふらふらとよるめきました。が、はやぶさもさるものです。さつと体勢を整えると、残雪のむなもとに飛びこみました。

ぱっ ぱっ

羽が、白い花卉のように、すんだ空に飛び散りました。そのまま、はやぶさと残雪は、もつれ合つて、ぬま地に落ちていきました。

大造じいさんはかけつけました。二羽の鳥は、なおも地上ではげしく戦っていました。が、はやぶさは、人間のすがたをみとめると、急に戦いをやめて、よるめきながら、飛び去っていきました。

残雪は、むねの辺りをくれないにそめて、ぐったりとしていました。しかし、第一のおそろしい敵が近づいたのを感じると、残りの力をふりしぼつて、ぐっと長い首を持ち上げました。そして、じいさんを正面からにらみつけました。それは、鳥とはいえ、いかにも頭領らしい、堂々たる態度のようでありました。

大造じいさんが手をのばしても、残雪は、もう、じたばたさわぎませんでした。最期のときを感じて、せめて頭領としてのいげんをきずつけまいと努力しているようでもありました。大造じいさんは、強く心を打たれて、ただの鳥に対しては、うな気がしませんでした。

まんが家「手塚治虫」について書かれた伝記の一部です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

手塚治虫（本名は治）は、一九二八年（昭和三年）十一月三日、大阪府豊中市（おおさかかふとよなかかし）で生まれた。子ども時代を過ごしたのは、兵庫県（ひょうごけん）宝塚市（たからづかし）である。

治は体操は苦手だったが、図画や工作は得意だった。三、四歳のころから絵をかく楽しみを覚え、小学校に入学するころには、絵が大好きになっていた。図画の時間になると、風景や人物をよく観察して、細かいところもしっかりかいた。

まんがをかくのも得意だった。母は、子ども向けのまんが本を、よく買ってきてくれた。治はそれをくり返し読んで、せりふや場面をすっかり暗記したり、まんがの主人公の絵をかいたりした。

小学校での治は、いじめられっ子だった。「どうしたら、いじめられないようになるのかな。」と治は考えた。いじめっ子にはできなくて、自分にはできることを見つけ、やってみせればいい。

「そうだ、まんがをかくことだったら、だれにも負けないぞ。」

治が得意のまんがをかいてみせると、いじめっ子たちはおどろいた。治はいじめっ子たちに、好きなまんがの主人公をかいてやり、ノートにかいたまんがの作品を見せた。その出来ばえに、だれもが感心して、いじめはなくなっていった。

どうしたらおもしろいまんがをかけるのか。絵のかき方やストーリーについてくふうしたので、治のまんがはどんどんうまくなっていった。そして前よりも、もっとまんがが好きになった。

一 「そして前よりも、もっとまんがが好きになった。」とあるが、その理由を書きましよう。次の条件に合わせて書きましよう。

〈条件〉

- 【まんが家「手塚治虫」の伝記の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- なぜもっと好きになったかを二つの理由を入れて書くこと。
- 百字以上百二十字以内にまとめて書くこと。

120	100				

【解答】

一 「そして前よりも、もつとまんがが好きになった。」とあるが、その理由を書きましよう。次の条件に合わせて書きましよう。

〈条件〉

○ 【まんが家「手塚治虫」の伝記の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。

○ なぜもつと好きになったかを二つの理由を入れて書くこと。

○ 百字以上百二十字以内にまとめて書くこと。

ど	や	お	も	い	い
ん	ス	も	が	じ	じ
う	ト	し	感	め	め
ま	丨	ろ	心	っ	ら
く	リ	い	し	子	れ
な	丨	ま	て	た	っ
っ	に	ん	い	ち	子
て	っ	が	じ	に	だ
い	い	が	め	か	っ
っ	て	か	が	い	た
た	く	け	な	て	治
か	ふ	る	く	み	は
ら	う	の	な	せ	、
。	し	か	り	た	得
	た	、	、	こ	意
	の	絵	ど	と	の
	で	の	う	で	ま
	、	か	し	、	ん
	ど	き	た	だ	が
	ん	方	ら	れ	を

方言と共通語について書かれた文章です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

みなさんは、テレビなどで耳にする言い方の中に、自分たちがふだん使ったり聞いたりする言葉とちがうものがあると思ったことはありませんか。

例えば、何かをもらってお礼を言うとき、どんな言葉を使いますか。「ありがとう」と言う所もあれば、「おおきに」や「ごちそうさま」と言う所もあります。

また、同じ物がちがう名でよばれることもあります。「カボチャ」には、「トウナス」「ナンキン」「ボウブラ」など、地域によってさまざまなよび名があります。

同じ言葉でも、地域によってちがう意味で使われることがあります。例えば、「こわい」は、東京や大阪では、ふつうおそろしいことがあったときに使いますが、北海道、東北地方、中国・四国地方や九州地方の一部では、つかれたときに「こわい」と言うことがあります。

このように、それぞれの地域には、その土地の人たちの間で伝統的に使われてきた言葉や言い方があります。それを方言と言います。方言にふくまれる言葉や言い方の中には、かなり広い地域で使われるものも、ごく限られた地域だけで使われるものもあります。

それに対して、テレビやラジオのニュースの言葉のように、全国的に使われ、どの地域の人たちにも通じる言葉を共通語といいます。共通語は、新聞などにも使われています。

今日では、共通語は全国的に広まり、どこに旅行しても言葉が通じないということとはほとんどありません。しかし、ふだんの生活では、地域によってことなる言葉や言い方が使われ続けています。

どの地域の人たちとも話し合えるように、共通語を身につけることは必要です。しかし、自分たちの土地の方言も大切にしていかなければなりません。方言は毎日の生活の中で、同じ土地にくらす人どうしが気持ちを伝え合うために、欠かすことができないものだからです。





【解答】

一 方言と共通語の違いについて書きましよう。次の条件に合わせて書きましよう。

〈条件〉

- 方言と共通語の違いについて、文章から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 「方言」と「共通語」という言葉を入れて書くこと。
- 七十字以上九十字以内にまとめて書くこと。

	ち	共	の	方
	に	通	間	言
	も	語	で	は
	通	は	伝	、
	じ	、	統	そ
	る	全	的	れ
	言	国	に	ぞ
	葉	的	使	れ
	で	に	わ	の
90	あ	使	れ	地
	る	わ	て	域
	。	れ	き	で
		、	た	そ
		ど	言	の
		の	葉	土
		地	や	地
		域	言	の
		の	い	人
		人	方	た
		た	で	ち

木村さんは、海岸の清そう活動に参加して、海岸の環境保護ほごについてもっと知りたいと思い、資料①～④を集めました。それらの資料をもとに、海岸の環境を守ることがクラスの人によびかけるための文章を書きました。【木村さんの文章】を読んで、あとの問いに答えましょう。

名前

資料(3)



(2011年/水辺の環境保護団体のホームページより)

資料(1)

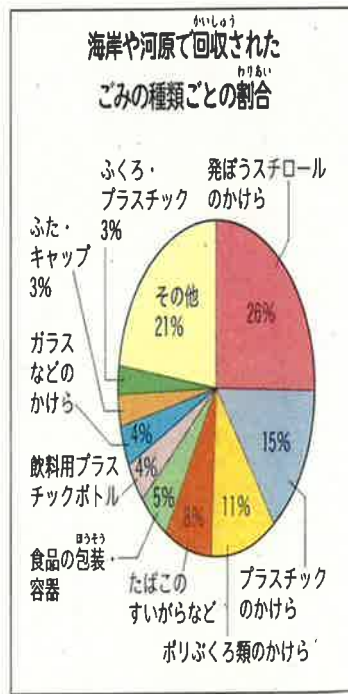


資料(4)



(環境保護団体のパンフレットより)

資料(2)



(2011年/水辺の環境保護団体のホームページより)

## 【木村さんの文章】

海に行ったとき、海岸のごみに気づいたことはありませんか。わたしは、二週間前に海岸の清そう活動に参加し、ごみの多さにおどろきました。まず、資料①を見てください。これは、わたしが清そう活動をした海岸でとった写真です。この写真から分かるように、海岸にはプラスチックやペットボトルなどのごみが大量に落ちていました。

次に、資料②を見てください。

この資料は、  
ア

この資料によると、いちばん多いごみは「発泡スチロールのかけら」で全体の二十六パーセントをしめています。また、「プラスチックのかけら」や「ポリぶくろ類のかけら」も多いことが分かります。つまり、全国の海岸に落ちているごみの多くは、私たちの生活に関わるごみなのです。

さらに、資料③を見てください。この資料は、資料②のごみの総量を表しています。

この資料によると、ごみの総量は、二万一九九キログラムで、これは、ごみ収集車約十台分に当たる量です。また、この回収作業には、のべ四万七十九人の人が参加しました。

最後に、資料④を見てください。

この資料は、プラスチックの輪が外れなくなってしまい、えさをとれなくなったアザラシの写真です。人間が出した海岸のごみは、野生の生き物にもえいきょうをあたえています。

このように、海岸にはわたしたちの生活から出たごみが多く落ちており、そのごみを拾うにはたくさんの人たちの力が必要となります。

イ



「この資料は、」に続いて、アの文を完成させましょう。

この資料は、二〇一一年に海岸や河原で回収されたごみの種類ごとの割合を表しています。

二 資料から分かったことをふまえて、海岸のかん境について考えたことを、木村さんになつたつもりで書きましょう。  
(条件)

- 「海岸のかんきょう」を入れて書くこと。
- 自分の生活でできることを取り上げて書くこと。
- 四十字以上、五十字以内にまとめて書くこと。

る	き	海
こ	ま	岸
と	り	の
が	を	か
大	守	ん
切	っ	境
で	て	を
す	ご	守
。	み	る
50	を	た
	始	め
	末	に
	す	は
	る	私
	よ	た
	う	ち
	に	み
	心	ん
	が	な
	け	が

【ホットケーキのページ】

ホットケーキのかんたん作り方

材料

- 小麦粉 150g
- さとう 40g
- ベーキングパウダー 小さじ2
- たまご 1こ
- 牛にゅう 130mL



作り方

- 1 小麦粉とベーキングパウダーをふるいにかける。
- 2 別のボウルにたまごと牛乳を入れ、よくまぜる。
- 3 ふるった粉の中に2を加えて、まぜる。
- 4 フライパンに油を引く。
- 5 おたま1ぱい分をフライパンに入れて、弱火で焼く。
- 6 約3分後、表面がポツポツしてきたら、裏返して約2分焼いて完成。

【家庭科の先生に聞いて分かったこと】

\*おいしく作るコツ

- きれいに焼くために、粉を必ずふるう。
- まぜすぎると、ふくらみにくい。
- まぜたら、早めに焼く。
- 油は入れすぎない。
- フライパンは、あたためておくとよい。
- 裏返したら、フタをして焼くとよい。
- 生クリームやフルーツをのせるとおいしい。

クラスで、手作りのおやつについて発表することになりました。青木さんと川上さんは、本で【ホットケーキのページ】を読み、しようかいするおやつをホットケーキに決めました。二人は、失敗しないように作るコツを、家庭科の先生にいろいろと教わりました。いよいよクラスで発表する時がきました。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

名前

【二人の発表】

私たちは、「ホットケーキの作り方」についてしようかいたします。

まず、材料を用意します。小麦粉一五〇グラム、さとう四〇グラム、ベーキングパウダー小さじ2はい、たまご二こ、牛にゆう一三〇ミリリットルです。

では、作り方を説明します。

はじめに、小麦粉とベーキングパウダーをふるいにかけます。これをやらないと、粉が固まって、きれいに焼けないそうです。

次に、

その次に、フライパンに油をひきます。油を入れすぎないようにしましょう。フライパンはあたたためておくとよいそうです。

( 〽 省略 〽 )  
しょうりやく

これで、ホットケーキの出来上がりです。みなさんも、ぜひ作ってみてください。

一 【二人の発表】の中の  に入る内容を、あとの条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 【ホットケーキのページ】と【家庭科の先生に聞いて分かったこと】から、言葉や文を取り上げて書くこと。
- 【二人の発表】にふさわしい言葉を用いて書くこと。
- 「次に、」の書き出しの言葉に続けて、七十字以上、八十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

			次
			に
			、
70			
80			



一 【二人の発表】の中の  に入る内容を、あとの条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 【ホットケーキのページ】と【家庭科の先生に聞いて分かったこと】から、言葉や文を取り上げて書くこと。
- 【二人の発表】にふさわしい言葉を用いて書くこと。
- 「次に、」の書き出しの言葉に続けて、七十字以上、八十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

そ	ま	て	次
う	ぜ	よ	に
で	ま	く	、
す	す	ま	別
。	。	ぜ	の
ま	ま	ま	ボ
ぜ	ぜ	す	ウ
た	す	。	ル
ら	ぎ	そ	に
早	る	れ	た
め	と	を	ま
に	ふ	ふ	ご
や	く	る	と
き	ら	っ	牛
ま	み	た	に
し	に	粉	ゆ
よ	く	に	う
う	く	加	を
。	な	え	入
<sup>80</sup>	る	て	れ

「コウノトリが教えてくれた」の文章の一部です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

もともとコウノトリは、東北から九州にかけて広く生息していた。ところが、明治時代にじゅうが出回り、禁りようがゆるむと、一時的に大型の鳥類がらんかくされた。そしてコウノトリも、一八八七年（明治二十年）を過ぎると、兵庫県北部の但馬地方でしか見られなくなってしまった。

田んぼにコウノトリがいる風景があたりまえだった但馬地方からも、コウノトリはすがたを消すことになる。

その要因の一つは、第二次世界大戦が起こり、コウノトリが巣をかける松が、松ヤニを採ったり材木に使ったりするために切り出され、減少したためである。

(1) もう一つは、戦後、コウノトリがくらす田んぼや水辺の環境が大きく変化したためである。田んぼは区画整理され、イネの生長に合わせて水の調節をするようになった。水路はコンクリートやパイプに変わり、自然の湿地が減った。さらに、イネを育てるのに農薬が使われるようになり、えさとなる魚やカエルはげき減した。

こうして、一九七一年（昭和四十六年）、ついに野生のコウノトリは、自然の風景から完全に姿を消してしまったのである



【解答】

一 (1) .....とありますが、田んぼや水辺の環境がどのように変化し、結果どうなりましたか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 文章から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 二つの理由を入れて書くこと。
- 五十字以上六十字以内にまとめて書くこと。

う	が	水
に	減	路
な	り	は
り	、	コ
、	ま	ン
え	た	ク
さ	、	リ
と	イ	ー
な	ネ	ト
る	を	や
魚	育	パ
や	て	イ
カ	る	プ
エ	の	に
ル	に	変
が	農	わ
げ	薬	り
き	が	、
減	使	自
し	わ	然
た	れ	の
。	る	湿
	よ	地

50

60

「カラス」の文章の一部です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

ある日、ごみ捨て場から食べ物をくわえてきた一羽のカラスが、たおれた木のあなに食べ物をつめこんでいるのを見ました。

それから、その上にどろや土などをかぶせてふたをし、飛び去って行きました。

(1) これは、一時、食べ物をかくしておき、後で取り出して食べるというかしこさの一つです。

カラスとトビは、ともに何でも食べる雑食性の鳥で、えさ場が重なり合うことが多く、しばしば食べ物でうばい合いが起ります。

しかし、トビはカラスよりかなり大きく、強いので、カラス一羽ではとても歯が立ちません。そこで、カラスは、仲間数羽が集まってトビと争うのです。群れになると自分たちも強いことを知っているのです。

カラスのかしこさは、ここにも表れています。

一 (1) の指す内容を、かんとんにまとめましょう。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 文章から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 三十字以上三十五字以内にまとめて書くこと。

30	
35	

【解答】

一 (1) の指す内容を、かんたんにとまとめましょう。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 文章から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 三十字以上三十五字以内にまとめて書くこと。

た	せ
お	て
れ	ふ
た	た
木	を
の	す
あ	る
な	こ
の	と
上	。
	30
に	
ど	
ろ	
や	
土	35
な	
ど	
を	
か	
ぶ	

山田さんは、黒柳徹子の作品を借りて読むことにしました。これは、その一部です。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

【黒柳徹子の作品】

わたしは小学生になるほんのちよつと前、結核性股関節炎けっかくせいこかんせつえん という病気で入院した。石ころのギプスを、ウエストから足のつま先までぐるぐるまきにはめられて、上を向いてねているだけの生活が、三か月続いた。でも、わたしは子どもだったから、なんの心配もなく、むねの上でお人形さんごっこや、本を読んでくらしていた。そのとき、両親は医者から、「よくなっても、多分、将来はまっばえをつくことになるでしょう。」と言われていた。

そんな状態じょうたいのとき、わたしは、となりの病室に、わたしと同じくらいの年で同じ病気の女の子がいることを知った。話をしたわけでもなく、たまにどこかに移動いどうさせられるときとか、ギプスを取った後、リハビリテーションのときに顔を合わせた程度ていど。でも、わたしは「同じ病気の女の子」ということで、鮮明せんめいにその子このことを覚えていた。

\*結核性股関節炎けっかくせいこかんせつえん

足の付け根が結核菌におかされ、歩けなくなる病気。

\*ギプス

骨折こっせつなどをした部位を固定するため、包帯を石ころで固めた物。



わたしは退院し、つえなしで歩くことができるようになった。その後しばらくして、わたしが道を歩いていると、向こうから赤いまつばづえをついた女の子が来た。よく見ると、あの病院にいた女の子だった。

顔が合った。まつばづえのその子は、わたしの何もない足を見た。そして、わたしたちは何も言わずにすれちがった。

そのとき以来、わたしは、赤いまつばづえの子が遠くにでも見えると、走って横道にかくれた。まつばづえをついていない自分を、その子に見せたくなかった。その子の気持ちを思うと、たまらなかつた。

あるとき、わたしは父と散歩をしていた。そのとき、赤いまつばづえが見えた。わたしは、父を引っ張って横道に入った。父はわたしに、

「どうしたの？」

ときいた。わたしは父に説明した。話を聞き終わったとき、父が言った。

「そんなにかわいそうだと思うなら、かくれないで、行ってお話ししなさい。」  
でも、わたしには、そのときは、どうしても勇気が出なかつた。

今、わたしがしているボランティアやユニセフなどいろいろなことも、考えてみると、出発点は、

この六歳のときの父の言葉、「行ってお話ししなさい。」ではなかつたかと、今になって、やっとわたしは気が付いた。

\*ユニセフ

国際連合児童基金

のこと。世界中で、子どもを助けるための活動を行っている。

一 山田さんは、  
 .....の文が心に残りました。なぜ「行ってお話ししなさい。」という父の言葉が今のボランティアやユ  
 ニセフ活動につながっていったのかを、あとの条件に合わせて書きましよう。

〈条件〉

○【黒柳徹子の作品】の中の言葉を取り上げて書くこと。

○黒柳徹子の六歳のときの経験を入れて書くこと。

○百字以上、百二十字以内で書くこと。

120	100				

一 山田さんは、  
 の文が心に残ったそうです。なぜ「行ってお話しなさい。」という父の言葉が今のボランティア  
 やユニセフ活動につながっていったのかを、あとの条件に合わせて書きましよう。

〈条件〉

○【黒柳徹子の作品】の中の言葉を取り上げて書くこと。

○黒柳徹子の六歳のときの経験を入れて書くこと。

○百字以上、百二十字以内で書くこと。

さ	苦	大	当	い	赤
し	し	切	は	そ	い
の	ん	だ	勇	う	ま
べ	で	と	気	と	つ
た	い	い	を	思	ば
い	る	う	出	っ	づ
と	子	こ	し	て	え
思	ど	と	て	か	の
う	も	に	話	く	子
よ	た	気	し	れ	を
う	ち	づ	か	て	見
に	が	き	け	し	か
な	い	、	る	ま	け
っ	た	困	こ	っ	た
た	ら	っ	と	た	と
か	進	て	が	け	き
ら	ん	い	何	れ	に
。	で	る	よ	ど	、
	手	人	り	、	か
	を	や	も	本	わ



パワーアップ問題 解答例

※地域の特性に合わせて採点をお願いします。

わたしの学校は、周りに緑が多く、田や畑が広がっています。全校児童は二百七十人、そのうち六年生は六十人です。みんな明るくて仲が良く、最近はお下級生のお世話もがんばっています。

★ 右の文書を参考に、自分の学校を紹介する文書を書きましょう。

- 〈条件〉
- 自分の学校の自慢と憧れについてを紹介するよう。
  - 【紹介する文書】にらむわじし言葉を使いよう。
  - 初めは二マスあり、五十字以上八十字以内で書け

	わ	た	し	の	学	校	は	,
岩	間	駅	の	近	く	に	あ	り
ま	す	。	全	校	児	童	は	約
三	百	人	で	す	。	「	一	小
は	や	し	」	が	有	名	で	す。
運	動	会	で	は	、	50字	四	年
か	ら	六	年	生	ま	で	,	お
は	や	し	に	合	わ	せ	て	,
お	ど	り	ま	す	。			80字